令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　189

事務事業名称			市立病院施設維持管理事業					
担当部署（R8年度機構）			部：　市立病院事務局	課：　総務課		区分	持続的事業	
基本項目	総合計画	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち			細区分	維持管理区分	
		施策目標	8.安心して適切な医療が受けられるまち			性質	健康・医療	
	市長公約との関係性		所信表明（R5年9月）	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度 / R9年度
						—	—	
	事業期間		事業開始：　不明　～　事業終了予定：　未定（継続実施含む）					
	根拠法令等		・枚方市病院事業の設置等に関する条例　・市立ひらかた病院防火管理規程　・市立ひらかた病院電気工作物保安規程					
	関係附属機関等		該当なし					
	関係補助金等		該当なし　補助金性質：　—					
詳細項目	事業の目的（最終アウトカム）・目指すべき状態・課題が解決した状態		患者の皆さんやご家族、また職員に対して安全かつ快適な環境を提供することで、本院にて行う医療行為を円滑に進めることができる状態。					
	対象者（受益者）		本院を利用する疾病や疾患を抱えた方／本院で働く職員や事業者					
		現状・課題	施設や設備を365日24時間体制にて稼動させ続ける必要があることから、経年劣化していく施設や設備を常に監視するとともに、機器等にトラブルが発生した際には、患者の生命にも関わることから瞬時に復旧させる必要がある。					
	事業の概要		建物の修繕・維持管理、空調設備の点検等、病院施設全般の維持管理を適切に執行する。					
	年間の主な事務		・市立ひらかた病院施設における維持管理業務（中央監視室管理業務、防災センター業務、清掃業務、電話交換業務、施設修繕業務など） ・施設管理員による院内の定期巡回 ・設備・備品修繕					

2. 事務事業への投入コスト（インプット）

人員体制	（人）	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員	0.80人	0.80人	—	—
	再任用	0.00人	0.00人	—	—
	任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
	会計年度任用職員	1.68人	1.68人	—	—
	特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
	附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額	（千円）		R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額（参考）	予算執行率（参考）
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	6,150	6,567	—	—		
		会計年度任用職員	7,059	7,046	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		13,209	13,613	—	—		
	物件費計		0	0	—	—	0	0.0%
歳出計			13,209	13,613	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	—	—	0	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		0	0	—	—	0	
歳入計（物件費に充当される特定財源）			0	0	—	—	0	
一般財源（物件費充当分のみ）			0	0	—	—	0	

（留意事項）
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 必要な保守点検等を実施する。	回	64 回	96 回	― 回	― 回
② 委託事業者との意見交換(定例会の開催)	回	12 回	12 回	― 回	― 回

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明	病院施設が適正に維持管理されている。
指標	修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	100	100	100	100	%以内
実績	98	97	―	―	%
算出方法	決算額/当初予算額×100				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	―
指標	―

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	―	―	―	―	―
実績	―		―	―	―
算出方法	―				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

建物、設備の適正な維持管理に努め、早期に修繕を行うことで、安全かつ快適な環境を提供する

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	令和6年度は当院建設から10年目迎えることから、施設管理員による院内点検を7月～10月の間6回に増やし、設備、備品等の不具合による事故を未然に防ぐことができた。
R7年度	令和7年度は施設管理員による院内点検を週2回程度とし設備、備品等の、軽微な不具合については、その場で修繕を行うことで事故を未然に防ぐことができた。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	施設を利用する患者のみなさま、ご家族、また職員が安全かつ快適な環境を維持していくため、施設管理員の巡回及び設備、備品等の軽微な修繕を引き続き行う。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	―	―

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　190

事務事業名称			市立病院人事管理事務					
担当部署（R8年度機構）			部：　市立病院事務局	課：　総務課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち			細区分	行政運営区分	
		施策目標	8.安心して適切な医療が受けられるまち			性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性		所信表明（R5年9月）	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度 / R9年度
						—	—	
	事業期間		事業開始：　不明		～	事業終了予定：　未定（継続実施含む）		
	根拠法令等		・職員就業規則　・職員の給与等に関する規程　・職員の旅費に関する規程　・安全衛生管理規程					
	関係附属機関等		該当なし					
	関係補助金等		該当なし			補助金性質：	—	
詳細項目	事業の目的（最終アウトカム）・目指すべき状態・課題が解決した状態		職員の任免事務を実施するとともに、給与や勤務時間等の勤務条件、また公務災害等に関する事務を適正に執行することで、医療行為全般の能率を維持・向上出来ている状態。					
	対象者（受益者）		特別職、非常勤職員及び臨時職員を含む市立ひらかた病院の全職員					
	現状・課題		市立ひらかた病院における人事管理全般を統括し、効果的・効率的に事務を執行する必要がある。					
	事業の概要		・職員の任免関係事務 ・給与・旅費の支給に関する事務 ・職員の休暇等に関する事務 ・職員の健康管理に関する事務 ・職員の福利厚生に関する事務					
	年間の主な事務		・職員の任免に関する事務の実施 ・職員給与の支給や勤務時間及び休暇に関する事務の実施 ・職員が公務中に負傷等をした場合の災害補償事務の実施 ・職員の健康診断等健康管理や福利厚生に関する事務の実施					

2. 事務事業への投入コスト（インプット）

人員体制	（人）	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員	4.00人	4.00人	—	—
	再任用	0.00人	0.00人	—	—
	任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
	会計年度任用職員	0.00人	0.15人	—	—
	特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
	附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額	（千円）		R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額（参考）	予算執行率（参考）
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	30,752	32,836	—	—		
		会計年度任用職員	0	629	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		30,752	33,465	—	—		
	物件費計		0	0	—	—	0	0.0%
歳出計			30,752	33,465	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	—	—	0	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		0	0	—	—	0	
歳入計（物件費に充当される特定財源）			0	0	—	—	0	
一般財源（物件費充当分のみ）			0	0	—	—	0	

（留意事項）
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 職員健康診断の実施	回	2 回	2 回	— 回	— 回

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	より優秀な人材を確保するため、医学生や看護師、医療技術員など求職者への病院見学の実施や就職説明会に積極的に参加した。特に看護師については、看護学生向けイベントへの参加などにより人材確保に努めた。また、給与や支払いに関する事務を適切に執行した。
R7年度	より優秀な人材を確保するため、医学生や看護師、医療技術員など求職者への病院見学の実施や就職説明会に積極的に参加した。また、看護学生確保のために、就職セミナーへ参加するなど人材確保に努めた。給与や支払いに関する事務も適切に執行した。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	今後も引き続き、適正な人事管理を執行するとともに、診療体制に合わせて必要な医療職等の確保に努める。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　895

事務事業名称			市立病院総務課運営事務					
担当部署（R8年度機構）			部：　市立病院事務局	課：　総務課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画	基本目標	9.施策体系外			細区分	行政運営区分	
		施策目標	99.施策体系外			性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性		所信表明（R5年9月）	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度 / R9年度
						—	—	
	事業期間		事業開始：　不明　～　事業終了予定：　未定（継続実施含む）					
	根拠法令等		決裁					
	関係附属機関等		該当なし					
	関係補助金等		該当なし　補助金性質：　—					
詳細項目	事業の目的（最終アウトカム）・目指すべき状態・課題が解決した状態		市立ひらかた病院事務分掌規程に基づく所管事務をすべての職員が適正かつ効率的に執行するための専門的知識を習得できている状態。					
	対象者（受益者）		総務課職員					
		現状・課題	総務課所管の運営事務を効果的・効率的に執行する必要がある。					
	事業の概要		課の運営業務					
	年間の主な事務		・公用車の管理に関する事務の実施 ・郵便物等の仕分け業務の実施 ・諸会費等会費納入事務の実施					

2. 事務事業への投入コスト（インプット）

人員体制	（人）	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員	2.20人	2.20人	—	—
	再任用	0.00人	0.00人	—	—
	任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
	会計年度任用職員	2.40人	2.60人	—	—
	特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
	附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額	（千円）	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額（参考）	予算執行率（参考）
歳出	内訳　正職員、再任用、任期付職員	16,914	18,060	—	—		
	内訳　会計年度任用職員	8,913	10,904	—	—		
	内訳　特別職非常勤	0	0	—	—		
	内訳　附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計	25,827	28,964	—	—		
	物件費計	0	0	—	—	0	0.0%
歳出計		25,827	28,964	—	—		
歳入	国庫支出金	0	0	—	—	0	
	府支出金	0	0	—	—	0	
	受益者負担（使用料・手数料）	0	0	—	—	0	
	市債	0	0	—	—	0	
	その他	0	0	—	—	0	
歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	0	—	—	0	
一般財源（物件費充当分のみ）		0	0	—	—	0	

（留意事項）
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① ―					

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明	―					
指標	―					
		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					―
	実績					―
	算出方法	―				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	―					
指標	―					
		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					―
	実績					―
	算出方法	―				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

―

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	車両の管理、郵便物等の管理、諸会費の納入事務など内部事務全般(他の部署の所管に属さない院内の事務を含む)を効率的・適正に執行した。
R7年度	車両の管理、郵便物等の管理、諸会費の納入事務など内部事務全般(他の部署の所管に属さない院内の事務を含む)を効率的・適正に執行した。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	引き続き病院の設備・システムに対応した効率的な事務執行に努める。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	―	―